

自治基本条例メモ

第20話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ④52-5195

子どもには難しいけれど、大切な情報よね。それが基になって、私たちの生活に関わるいろいろなことが決まって行くんだよ。



今回は「いつ情報を発信するか」について考えてみよう。
いつって、早めがいいに決まっているじゃない！
イベントや講座のお知らせは、早めに知りたいわよね。
それに、「こんなことがあったよ」「こんなものができたよ」「こんなことができたよ」という情報も知りたいわ。



「どうすればいいだろう」「どう考えるんだろう」からの情報を知らることができれば、もっと興味が持てるよね。
私たちの、「情報を知らなくて気持ちも高まっていくわね。」



まちづくりには、市民がしっかりと考えて作り上げていくことが大切なんだ。

そうなんだ。でもみんなの生活に関わる大切なことなのに、知らないって人が多いよね。
突然、難しい話されても、興味わかないよ！
そうなのよね。
決まってくる様子がわかればいいのに。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をサポートします。

新庄壮年会

- 会員 55人
- 連絡先 代表 中野吉彦 ☎52-0497



*ふれあい桜祭り 4月14日(土)10時~14時
*ライトアップ 4月上旬の約1週間
18時30分~21時(開花状況により調整)

今年6年目を迎える新庄の桜祭り。せっかくなら夜も楽しもうという会員のアイデアで桜のライトアップを始められました。この桜は、双葉中学校の卒業記念に植樹されたもので、約400mの桜並木が闇夜に浮かび上がる様子はとても幻想的で、青空の下で楽しむお花見とは違った味わいがあります。

新庄壮年会の始まりは昭和58年。地域の青年団が自然消滅したものの、地域活動の必要性を感じて結成されました。25歳から64歳までの男性で組織され、桜祭りを始め、区民運動会など地域の活動に大きな役割を果たしています。活動を通じて、同じ集落にしながら顔も知らなかった人や若い世代との交流ができ、地域の絆づくりにつながっているそうです。

将来、自分たちが住み続けたいと思うまちづくりのために・・・そんな壮年会の活動は、強制ではなく、自由参加が基本です。自分のできる範囲で、また得意分野を生かして会員それぞれがうまく役割分担されています。“がんばらないけどあきらめない” こうしたゆるいスタイルが長く活動を続けてこられた秘訣かもしれません。

最近、ライトアップの様子を高速道路や電車から見かけて「桜の名所」に遠方から訪れる人も増えたとか。春の訪れが待ち遠しいですね。

お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) ☎52-6626 ④52-5195 掲載希望はこちらまで